

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
泉南市子ども総合支援センター		令和7年 3月 12日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3			・個々の発達段階に応じた教材や支援グッズの案を提供していきたいと思います。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・非常勤勤務の職員もいるので他の職員と連携しながら訪問の日程調整等を行っています。	・現在のところ適切ではあるが、業務の充実を図れるよう訪問担当者のスキルを他職員にも伝達していきたいと思います。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・必要に応じて担当以外の職員が参画し、話し合い改善できることを目指しています。	・今後も担当だけでなく、児童発達管理責任者をはじめ相談員、訓練士等、さまざまな職種の視点での意見を集め、話し合いを行っていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・保護者の方のご意見を受けた場合は業務の改善につなげています。	・今後も保護者の方の意見等を把握できるよう送迎時や懇談時、アンケートを活用していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・ケース会議等により場を設け改善に取り組んでいます。	・職員がより活発に話し合えるような形を考えていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	・外部評価ではないが、訪問支援担当者以外の職員に相談し、客観的な視点や評価を聞ける機会を作っています。	・保護者の方からの苦情に迅速に対応できるよう心掛けていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・研究療育や保護者の方の思いに寄り添う支援の方法について等、様々なテーマの研修会を開催したり、センター外の研修も周知し、参加しています。	・今後も職員のスキルアップや資質向上のための研修を企画し実施していきたいと思っています。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		・保護者の方からの聞き取り、チェックシート等を基にねらいを設定しています。また、半年ごとに懇談を行い課題に対しての評価反省を行っています。	・個々の状況を確認し、子ども達の意思や保護者の方のニーズにそった計画が作成できるよう、今後も職員間で確認し合い、共通理解に努めます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・児童管理責任者、担当、相談員等様々な職員の視点から課題分析をし、計画作成に取り組んでいます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・訪問先施設での様子を見たり、担当教職員の先生方の意向等を聞きながら、保護者の方のニーズを把握し、必要な支援内容を確認・計画の立案に努めています。	・今後も訪問先施設担当教職員の先生方や職員間で話し合いの時間を大事にし、評価立案を行っていきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・支援計画を持参し、共有しています。 ・様々な職員間で計画や支援方法を共有しています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・保護者の方の情報や研究療育・行動観察等を下のアセスメントを行っています。	・心理士・発達相談員・訓練士等、多職種連携を更に密に行い、支援につなげていきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・本人や家族の方のニーズに添って支援内容を検討し、設定しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・訪問日の振り返りや話し合い等にて個々に応じた支援方法等を必要に応じて専門職も入り、様々な職員で確認しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・朝、全員でミーティングを行い一日の内容の確認を行っています。 ・支援開始前に保護者の方と子どもの思いを共有し、訪問後は気になる点など次へ向け検討しています。	・今後も支援について事前確認や振り返りを行っていきます。また話し合いに参加できなかった職員には後日報告し、しっかりと共有していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・良かった点や改善点を振り返り、検証・改善につなげています。	

関係機関や保護者との連携	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・訪問先施設の担当の先生方の意向や授業内容や進め方、子どもへの関わり方等、訪問先での取り組みを尊重しながら子どもへの支援方法を提供しています。	・担当の先生方の思いや考えをしっかりと聞き取り子どもの支援のために努めていきたいと思っています。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		・疑問点や反省点等を他の職員と話し合い、訪問記録に記載し、次の支援へつなげています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・訪問記録をまとめたものを保護者の方と共有したり、支援計画の確認懇談を実施し子どもの様子や成長にともない、随時、職員間で計画の見直しを行っています。	・今後もさまざまな職員の視点から、子どもの様子や支援について振り返りを行い、次回に向けて支援内容や計画を検討していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・児発、主任、担当者等子どもに関わる職員が参画しています。必要に応じて相談員も参画しています。	・担当者だけでなく、関係する職員で状況の理解ができるように日々の療育の様子の確認を行っています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・連携が必要なことがあれば、保護者の方を通じて情報を聞いたり、連絡をしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		・保護者の方と共に引継ぎに必要な支援内容を確認しています。	・保護者の方や関係機関と支援について情報共有を行うことに努めていきたいと思っています。
保護者等への説明等	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		・ST・PT・OTの助言やアドバイスをいただき支援につなげています。また外部研修の案内があれば都度、周知しています。	・今後も様々な研修案内等を周知していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		・市の自立支援協議会の事務局として、当センターの相談支援専門員と他の職員が定期的に参加し情報共有しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・訪問報告時や面談等で共通理解できるように努めています。	・必要に応じて面談の時間を設けていきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・ペアレントトレーニングの実施は行っていますが保護者学習会を行い、保護者の方の対応力向上につながるよう企画しています。	・保護者の方のニーズを聞き取り、参加しやすい学習会の内容を企画していきたいと思っています。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・運営規定、重要事項説明書、契約書について契約前に読み上げながら説明を行っています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		・事業開始前には必ず、訪問先施設の管理職等に事業の趣旨や訪問支援の目的等について説明を行っています。	・事業の趣旨や訪問支援の目的等についてより丁寧に今後も十分な説明を行っていきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・保護者の方の思いを聞き取りながら、子どもの思いを重ねて成長を必ず共有するように心掛けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		・保護者の方からの聞き取りや子どもの様子を観察する機会を設けニーズと課題の確認を行っています。また支援計画については年に3回の面談を行い説明を行い、保護者の方と計画の内容を共通理解しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		・訪問報告時には、保護者の方や子どもの困りごと等がないか確認を行うようにしています。また担当やその他職員等（心理士・相談員・児発等）で改善策を考え、迅速に対応できるよう努めています。	・面談や電話相談等、継続して行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2	・保護者学習会にて保育所等訪問やリバースクールやNEST、NEST2利用の保護者の方や一般の方とも交流していただけるように勉強会やリラクゼーション講座等いろんなテーマを企画しています。 ・きょうだい同士で交流する場としては、現在の時点では設けてはいませんが、保護者学習会のきょうだい保育を行っています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・苦情の窓口・担当者を設け、苦情や相談等あった際にセンター内ですぐに検討し、対応に努めています。	・ご家庭での困りごとやご相談等について共通理解を行いながら一緒に考えていき、迅速に対応していけるよう努めます。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	1	・ITCシステム（コドモンアプリ）利用し、研修等のお知らせを配信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・個人情報の取り扱いには十分に注意し、個人情報が含まれる書類は鍵付きのロッカーで保管しています。情報共有する際にも注意するように職員に周知しています。また関係機関との情報共有には保護者の方の同意を必ずいただき細心の注意を払っています。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意するよう、定期的に職員周知を行っていきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・一人一人の子どもの特性等を把握し、環境や時間の構造化を行い、視覚支援を用いて分かりやすい関りを行っています。また外国籍の子どもや保護者の方には絵やイラスト等視覚支援や書類にはルビうちをしったり、懇談等では他機関と協力し、翻訳や通訳を利用し意思疎通を図っています。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		・訪問先施設での困り感がある際には対応できるよう、児発や相談員等と共有し対策を考えています。	・保護者の方の思いや訪問先担当の先生方の考えをしっかりと聞き取り子どもの支援のために努めていきたいと思っています。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		・日程や時間の調整し、行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・共有する際には前回の訪問時からの成長を中心に課題と思われる内容も伝えています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・個人情報の取り扱いには十分に注意し、共有が必要と思われる情報は必ず、事前に保護者の方の同意のもと、訪問先施設等と情報の共有を行っています。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意するよう、定期的に職員周知を行っていきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		・訪問先での生活の中の困り感を聞きながら、支援の方法と一緒に考え必要な支援を提供しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・非常時の対応について、業務継続計画（BCP）や各種マニュアル等の策定をし、閲覧できるよう展示しています。職員研修として共有し、確認しています。毎月の避難訓練においては、火事、地震、不審者対応等様々な場面を想定して行っています。実施する際に保護者の方がいた場合には参加してもらっています。実施した後は張り紙をし周知しています。	・訓練や研修内容を工夫し様々な想定で実施したいと思っています。またITC（コドモンアプリ）や張り紙などにより、周知の徹底を行います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・安全計画を作成し研修や訓練を行っています。また危険な箇所・物はないか所内を点検しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・訪問先でのヒヤリハット事象があった場合は訪問先と共有し対応策を講じ、職員間で報告・共有しています。 ・ヒヤリハットが自身の失敗の報告書でなく、危険を共有するためのものとして位置づけし、事実や再発防止策も共有しています。	・それぞれの職員が自身の課題として捉え、再発しないように意識を高めていきたいです。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・障害者児の虐待防止に向け委員会を設置し、研修等を行い知識を高め、自身の関わりをチェックシートを利用して振り返りを行っています。	・今後も職員間で虐待に関しての意識づけを行っていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		・身体拘束につながる場面が少なく感じているが、改めて今後しっかりと説明をしていきたいと思っています。	・今後も身体拘束をせずに支援を行うための子どもへの支援や工夫をしっかりと職員間で話し合い、取り組んでいきます。